楢葉町 地域学校協働センター便り

ならはっ子通信

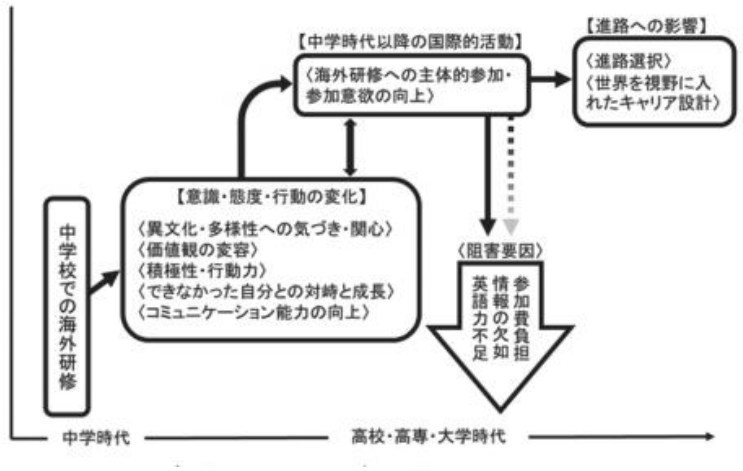
令和７年１月27日
第46号

発行：地域学校協働センター

海外研修によるインパクト!!!

震災後初となる町による小中学生（中学生からの応募は残念ながらありませんでした）の海外研修が今年度実施されました。12月には報告会も行われ、子どもたちの大きな成長を通じて、その効果についても感じていただけたことと思います。本号では意義の大きい教育活動が再開したことを記念して、子どもや町、そして国に生じた成果について教育的にお知らせしたいと思います。

小中学生向けの海外研修を実施している自治体はコロナが収束して以降、年々増加しており、**グローバル化を背景として、**国も国際社会を生きる人材を育成するために推奨しています。研究では**語学力やコミュニケーション能力、積極性・行動力、目標を達成する力、ストレス耐性、リーダーシップ、異文化に対応する力など多くの資質や能力の面で、早期に海外で研修体験をするほど、大きな教育効果をもたらす**ことも明らかとなっています。



中学時代の海外研修がその後の人生に与えるインパクト（岩手大学 平井ら）

このように渡航した子どもたちの成長は今回の町によるギリシャ交流事業においても確認されていますが、その他にも**下級生に対して、復興を推し進める国に対して、そしてギリシャに対しても影響が見られました。**特に今回、町では子どもたち間での交流を最重視して、ZOOMで事前交流を実施したり、３カ月にわたって準備を行い、この間、子どもたちが懸命に努力し続けてきたことで、他都市のようにただ単発のウェルカムイベントに参加したり、博物館を見学したりするのでなく、充実した交流活動を展開することができました。一町一校の楢葉町だからこそできる質の高い教育活動です。今後も子どもたちに対して、こうした機会を提供できるよう努めていきたいと思います。

現地とこども教室をZOOMで結び、下級生も海外気分に　ギリシャ人だけでなくアメリカ人などと積極的に交流する子どもたち

○参加した子どもたちの「外国語を使おう!、言葉が通じなくても人と関わろう!」という想いが高まった。
○参加した子どもたちの視野が広がり、歴史を学ぶことや国際親善の大切さを実感することにつながった。
○下級生があこがれを持ち、英語や異文化に対する学習意欲が高まり、自主的に学ぶようになった。
○ギリシャの子どもたちが日本のことを好きになり、自主的に日本文化を学ぶきっかけとなった。

楢葉の小学生が輪島市門前町の皆さんを勇気づけています!!!

能登半島地震から１年が経過しました。子ども教室では、５月から輪島市門前町と交流をしており、「子どもたちからの笑顔とメッセージが一番元気づけられる」という現地の人たちからの声を聞き、子どもたちと話し合って、様々なプレゼントを送ってきました。１月１日の慰霊祭には楢葉の子どもたちと輪島の高校生が共同制作したキャンドルにも灯火。大変な状況の中、3.11 の被災地である楢葉町の**子どもたちの心のこもったプレゼントが門前の皆さんを元気づけています!**（次号で訪問の様子をお知らせします）

あったかイルミネーション祭で観光客をおもてなし!!!

12 月 14 日（土）、天神岬サイクリングターミナルで、振興公社の皆さんと協働してあったかイルミネーション祭を開催しました!!!子どもたちは今年も楢葉の味であるマミーすいとんを 200 食分、手作りし、来町した方にふるまい!!! **子どもたちが自分たちで宣伝もした結果、10 分足らずでなくなってしまうほどの大盛況ぶりでした。**今年は新たな企画としてハンドベルの生演奏も担当。当日はこの冬一番の寒さでしたが、子どもたちと地域の皆さんの手作りの温かいもてなしに、県外からキャンプにいらしたある方は**「心がほっこりしました。楢葉町は自然がすばらしいだけでなくて、人と人のつながりがとてもすてきな町ですね。また、来月も初日の出を見に来たいと思います!!!」**と話されていました。町の皆さんと共に子どもたちも楢葉町の良さをどんどん発信していきたいと思います。

○ 輪島の物品購入と寄付のお礼

ならは 100 年祭やスワン祭りなどで子どもたちが販売した輪島の商品の売り上げや、募金を 12 月 27 日に現地の人たちに手渡ししました。全部でおよそ 24 万円（そのうちチャリティーや募金が８万円）でした。ご協力、ありがとうございました!!!

【お問合せ先】　楢葉町地域学校協働センター（楢葉小学校１階）　猿渡　・　渡部
（直通）070－7421－5156　（教育委員会）0240－23－5515
kyoudou-n@town.naraha.lg.jp